

箕面市立かやの第一・第二・第三駐輪場と仮設駐輪場を 一体的に運営する事業者候補者選定会議 議事概要

1 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和5年11月9日（木）午前10時から午前11時まで
- (2) 開催場所：箕面市役所 本館2階 特別会議室
- (3) 出席者：小山 郁夫（地域創造部長）
岡本 秀（市政統括監）
村田 尚記（総務部長）
北村 清（健康福祉部長）
西田 昭浩（みどりまちづくり部副部長）
- (4) 事務局：荻野 知崇（地域創造部担当副部長）
馬場 健一（地域創造部交通政策室長）
稲田 基樹（地域創造部交通政策室長補佐）
尾藤 千枝（地域創造部交通政策室参事）

2 議事概要

(1) 概要説明

事務局から、審査の対象施設や選定方針の概要について説明を行った。

【対象施設について】

- ・令和6年3月23日に北大阪急行線が延伸され、箕面萱野駅周辺環境整備のために設置するもので、国道423号線高架下北側にかやの第二駐輪場、南側かやの第三駐輪場を設置し、南側交通広場地下に設置する、かやの第一駐輪場が供用開始予定までの代替施設として仮設駐輪場を箕面萱野駅北西部で運営する。

【選定方針について】

- ・駐輪場は、条例第6条により指定管理者がその管理を行うこととされ、条例第7条第1項により、公募による選定とする。
- ・条例第7条第2項に基づいて公募条件を公示して候補者を募集したところ、事業者から所定の書類が提出されたため、条例第7条第4項に基づき、この会議において当該事業計画書等を審査して運営事業者の候補者を選定する。

【会議の流れについて】

〈当日スケジュール〉

- 1 申込者によるプレゼンテーション（15分）

2 質疑応答（15分）

3 採点、集計

4 合議による選定

〈採点方法〉

応募書類、プレゼンテーション及びヒアリングの内容を踏まえて以下のとおり採点する。

- ・提案金額に関する評価A（定量評価）（100点）
 - ・応募者に関する評価B（定量的定性評価）（100点）
 - ・提案内容に関する評価C（定性評価）（100点）
- 合計（A+B+C）、300点で採点する。

（2）サイカパーキング株式会社によるプレゼンテーション

（3）質疑応答

主な質疑は下記のとおり。

（質 問）法人の過去3か年決算状況で、令和2年度及び3年度は赤字が大きい。主な要因は何か。

（回 答）コロナ禍の中で駐輪場・駐車場の利用者が激減したことが大きな要因。駐輪場・駐車場の運営専門会社のため、駐輪場・駐車場での売り上げによって収入を得るが、利用収入が激減すると、どうしてもこのような結果となる。原価も切り詰められるだけしても、駐輪場の利用が全く無くなるということではなく、通常通り管理人を配置しなければならない。有人管理での運営だと人件費が占める割合がどうしても高く、収入減で原価はそのままだと、大規模な赤字が生じる。コロナ禍中であった令和2年度及び3年度はまさにその状況。令和4年度になって、コロナ禍を脱してはいないが徐々に上向き、黒字に転嫁した。

（質 問）24時間供用予定の駐輪場で、人員配置は6時30分～21時30分であり、9時間無人の時間が生じる。コールセンターでの対応となるが、無人時間中にトラブルが生じて現地に駆けつける必要が生じた場合、どこからどれくらいの時間で駆けつけ対応できるか。

（回 答）コールセンターに電話をいただくと駆けつける必要がある事案が発生した場合、警備会社の最寄りの基地局から駆けつける想定。交通事情もあり、20分～30分と想定しているが、夜間のためもう時間は想定ほどかからないかもしれない。

（質 問）無人の時間は気になるので、体制をしっかり整えていただきたい。

令和6年度の指定管理料は提案は0円だが、令和5年度は約450万円。必

要な理由を教えてください。

(回答) 令和5年度は9日間のみなので、端的に言えば収入の補填。原価として、オープン対応として必要な物品等を揃える必要があり、原価が発生する分を補いたいためである。

(質問) 市として平準化を考える必要がある。配分について協議には応じてもらえるのか。

(回答) 可能である。

(質問) 利用料減免は対応できるか。

(回答) 可能である。

(質問) 夜間の時間帯についても減免対応できるか。

(回答) 有人であればタイムリーに対応できるが、無人時間帯であれば、改めて申し出いただければ対応する。

(質問) 鉄道開業時、秋の紅葉季節など、利用が増える時期の対応はどのように考えているのか。

(回答) 動員等含めて対応を検討する。市から事前に情報があれば共有のうえ準備できると考えている。柔軟に対応する。

(質問) 駐輪場運営の中で、近年苦情で多い内容はどのようなものがあるか。

(回答) 苦情処理で多い内容は、管理人に対する内容が多い。研修プログラム等もあり、教育して運営管理にあたるが、お客様の要望などが偏ったものも結構あり、凶らずも苦情になってしまう内容も多々ある。我々が起因となる苦情は極力少なくしたいが、どうしてもお客様からのお問い合わせに対する応対方法などに対して苦情をいただくケースが結構ある。機械式であれば、機械の使い方や機械そのものに対して苦情を寄せられる場合もあるが、利用方法の周知が行き届き、慣れていただければある程度落ち着いてくると考えている。施設の経年劣化に対する苦情もあるが、今回は新設のため、その点で苦情を寄せられる心配はない。

(質問) 災害時に備え、非常食を備えるとあるが、現在想定している種類と量は。

(回答) 非常食(乾パン)と水で、各300用意を考えている。

(質問) CSR活動でシミュレーターやVR経験などが良いと思った。市にも交通安全部門があり、安全教育のイベントを企画した際、声かけ場合、経費はかかるのか。

(回答) CSR活動なので、費用は弊社負担。活動自体は平成27年頃からで、大阪府内や兵庫県内など、この近隣ではかなりの数を実施している。小学校の土曜授業の一環に組み入れている事例もあり、かなりの認知度は高まっている。元々、交通安全教育は若年層から行わなければ、交通ルールの周知徹底になかなか結びつかないというのが、経験則から得たところ。お子様が気軽に

楽しめてゲーム感覚でできるようにクイズ方式を用い、クイズに全問正解すればゴールドカードをもらえたりと、アイテムを駆使しながら現在に至っている。

(質 問) 自販機設置予定だが、何台程度想定しているのか

(回 答) 地下駐輪場のみで、飲料と食品の1台ずつ。

(質 問) 障害者が働く場として障害者事業団が市にはある。市の方針で、団体支援として、飲料の自販機設置にあたっては、その事業団を通して飲料メーカーに自販機を置いてもらうことにしている。協力いただけるか。

(回 答) 可能だと考えている。連携して協力させていただく。

(質 問) キューズモールの駐輪場の管理を受けるとあり、市施設と両方管理いただけるようであれば、良いことだと考えている。今回、市の駐輪場は90分無料設定とあるが、キューズモール側の利用料金設定をどのようにされる予定か教示可能か。そして本市の想定利用者数をどのように考えたのか。

(回 答) キューズモールの駐輪場の無料時間の設定については、エリアで区分し、近い場所は短く、遠い場所は長い時間として利用分散させる。利用料金は現在検討を実施しているところ。商業施設のため、低い利用料金設定にすれば、商業敷地利用で本来利用したい人が使えない可能性もあり、料金は割高な設定とし、市立駐輪場への利用を促したい。買い物をされたら無料券が渡されるので、その時間内で出庫いただく。駐輪場利用者数の想定は、箕面萱野駅の1日あたりの乗降者数の想定と、府内で近い同規模乗降者数の駅で始発駅の利用率から算出した。乗降者数は同じ程度だが、本施設の駐輪台数が圧倒的に少ないため、想定としては上振れない。近隣の利用料金設定の高い駐輪場に先に停められることはなく、まず市立駐輪場から埋まるという考え方。

3 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション及びヒアリングに基づき評価をした結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数 176.2点／300点（得点率58.73%）

上記点数に基づき判断した結果、サイカパーキング株式会社は箕面市立かやの第一・第二・第三駐輪場と仮設駐輪場を一体的に運営する事業者の候補者として適任であると達した。